

【会員投稿】 ソロキャンプにはまってます！②

原歯科 原 栄実子



宍粟市波賀町の「くるみの里キャンプ場」は、ソロキャンプサイトも区分けされ芝生も整備されていて管理棟も近く、薪を買い足しにいくのも便利なのと、なにより女性ひとりでも安心です。

夜は、焚火のゆらめく炎を眺めているだけで、

リラックスでき無心
になれる気がします。

テントは1万円以下

でも簡易で高性能な商品もあるようです。回を重ねるごとにキャンプグッズを少しづつ増やして楽しんでいます。



全医療機関が対象です 新型コロナ感染拡大防止継続支援補助金

申請締め切りは1月末です お忘れなく!

すべての医療機関に対し、診療所8万円、病院・有床診療所10万円の感染拡大防止対策費を補助する補助金の申請締め切りが月末に迫っています。下記をご確認の上、お忘れないうちに申請ください。

「令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金」

- 対象機関と上限額 ①無床診療所（医科・歯科） 8万円
②病院・有床診療所（医科・歯科） 10万円
③薬局・訪問看護事業者・助産所 6万円
 - 対象経費 2021年10月1日～12月31日までの、新型コロナウイルス感染症に対応した感染拡大防止対策に要した費用 ※感染拡大防止対策のための費用であることが求められています
 - 申請手続 締め切り 2022年1月31日（月）
方法 インターネットを利用し、厚労省ウェブサイトの特設申請ページから電子申請します。

◆支援補助金の問い合わせ窓口は、厚生労働省医療提供体制支援補助金コールセンター
☎0120-336-933（平日9時30分～18時）まで



明けましておめでとうございます。2年間にわたるコロナ禍で、医療機関も国民も疲弊しました1年間でした。

明石市内の医療機関のみなさまも、感染予防対策の強化、発熱外来、新型コロナワクチン接種、コロナ患者の入院受けなど、大いに地域医療に貢献されました。

我が国の医療政策は、5波の流行に十分学ばなかつたために、3回目のワクチン接種の遅延、PCR検査の普及等で大きな遅れを招き、今後も医療者への重圧が続くと思われます。

保険医協会は、コロナ禍から国民の健康と生命を守るために最善を尽くす所存ですので、明石支部会員のみなさまも、引き続きご健闘されることを期待いたします。

今年4月には、診療報酬改定が予定されていますが、

明に進んでおめでとうございます

用才三
之二
卷之二
三
。

歯科十〇・二九%)となつたものの、薬価・材料費のマイナスで全体としては▲〇・九四%改定。

歯科十〇・二九%)となつたものの、薬価・材料費のマイナスで全体としては▲〇・九四%改定。

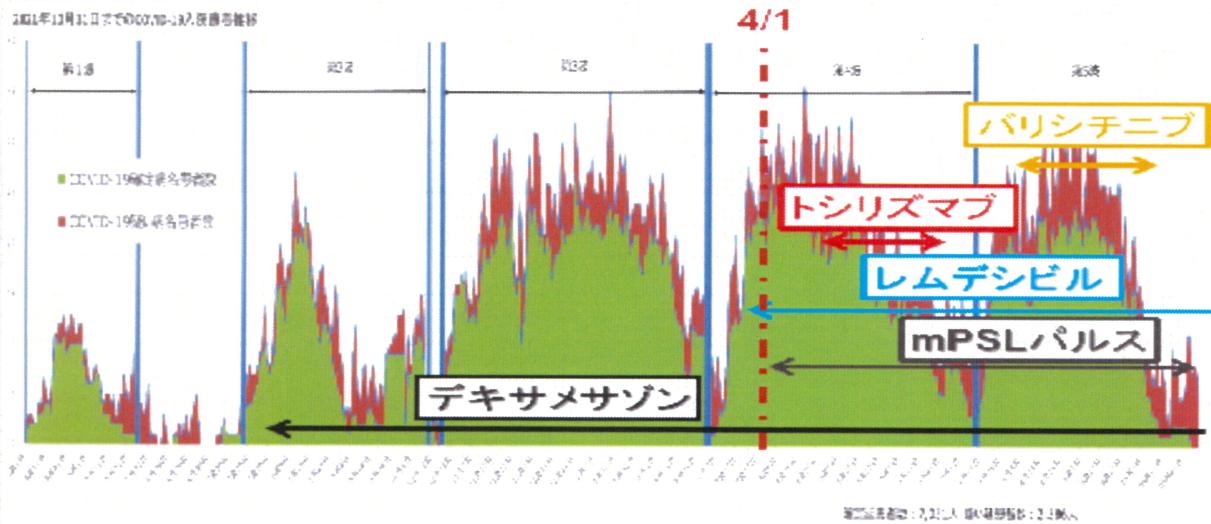
兵庫県保険医協会 明石支部
支 部 長 吉 岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目一番三号
神戸フコク生命海岸通ビル五階
TEL 078-393-1801

No. 325
2022·1·25
投稿歡迎



明石ではワクチン未接種透析患者さんの死亡率が高かったと振り返る阪本健三先生（写真右奥）

では治療薬がない状態で、第1波と解説。具体的に、第2波・第3波になつてデキサメタゾンを使用するようになつたこと、第4波以降はデキサメタゾンに加えて、トシリズマブやレムデシビルの使用やPSLパルス療法などを行つた他、第5波ではバリシチニブを使用したことなどを、その後の患者の状態も含めて詳しく解説した。



新型コロナウイルス感染症対策研究会

明石市立市民病院の地域での役割を再認識

明石支部は11月18日、アスピアあかし北館会議室で新型コロナウイルス感染症対策研究会を開催。明石市立市民病院循環器内科副部長・総合内科部長の阪本健三先生が「明石市立市民病院のコロナ診療の現状などについて」と題して講演し、16人（うちZOOM視聴9人）が参加した。

講師の阪本先生は、明石市立市民病院の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ体制について、豊富な写真を示しながら解説。患者とスタッフの接触を極力減らすよう専用病棟にカメラを設置したことや、ポータブルカウンタープロという機器を導入し、医療スタッフのマスクフィットティングが適切かどうか定期的に確認したことなど感染対策上の工夫について述べた。

型コロナウイルス感染症で死亡した例についても検討。「死亡例は免疫抑制剤投与中や高度の衰弱者であり、ワクチンで免疫が獲得されていなかつた可能性が高い」と結論付けて、ワクチン接種の有効性について解説した。

明石市の新型二回ナ感染状況の推移で第4波がピークだったことを表で示し、明石医療センターから看護師の応援派遣を受けたことや地域の病院から後方支援病院として患者受け入れなどの協力を得て助かつたことなどを振り返りながら紹介し、地域の医療機関の連携的重要性を強調した。

参加者からは、「厚労省は明石市立市立病院を統合再編の対象として名指ししたが、新型コロナ対応では、市民病院が重要な役割を担つておられ、大変心強かつた。厚労省の現場を見ない病床削減案は、腹立たしい」との意見が出された。

実際の治療について、酸素投与の必要性に応じてオキシマイザーやネザルハイフロー (Nasal High Flow)、非侵襲的陽圧換気 (NIPPV) 療法を使い分けて患者の PaO_2 を維持しながら治療に当たつたことを紹介した。投薬については、ニロー・イングラム・ハム・ジャーナル・オブ・メドカル (The New England Journal of Medicine) やランセラム (The Lancet)

参加者からは、「厚労省は明石市立市民病院を統合再編の対象として名指ししたが、新型コロナ対応では、市民病院が重要な役割を担つておられ、大変心強かつた。厚労省の現場を見ない病床削減案は、腹立たしい」との意見が出された。